

市民の文化にスポットライト

ぶんかのみ



ぶんかのみ vol.18

たかみ のりお 剱谷市在住。映画監督山本政志氏に20年以上前から師事。92年から地元平野造園㈱で修行の後02年に独立。数多くの個人邸の作庭を手掛ける。

現在、(社)日本庭園協会愛知県支部支部長 高見庭苑代表



作庭家 高見 紀雄氏

## Living Garden "庭"は家族の暮らしを映すスクリーン

映画業界出身という異色な経歴を持つ、作庭家 高見紀雄さんが今岡町に作られた"庭"を訪問しお話を聞いてきました。

### ○作庭家になられたきっかけは?

植物との出会いは映画のセットの小道具としてでした。植物で情景を創り出す魅力に目覚め仕事として庭づくりをはじめました。

### ○今回作られた庭のコンセプトは?

マンションの駐車場の隅、雑草だらけだった小さな空き地を植栽と石と鉄の枠を使い、開放された空間なのに、部屋に居る様にくつろげるスペースに変身させました。風を感じ、木漏れ日の下でお茶や読書を楽しんだり。マンションの住民同士が集うコミュニケーションの場になったり、使い方は自由。子どもたちが土や植物にふれ、感性豊かに育ってくれるとうれしいです。道路にも面していますので、地域の人たちとの会話も弾みそうです。

### ○今後の活動は?

現在も映画と関わっています。今、有名作庭家のドキュメント映画の製作を準備しているところです。

高見さんのデザインされた庭は、鑑賞するだけの庭ではなく、「使う庭」「寛ぐ庭」「集う庭」そして「育つ庭」まさにもう一つの居間「Living Garden」です。

[担当:磯村・植田]

高見庭苑 <http://www.katch.ne.jp/~kojikoji/>

ジャングルジムプロジェクト <http://www.junglegym-prj.com/>

■詳細は、文化工房かりやのブログ [<http://bkkariya.wordpress.com/>]で!



市民目線の“キキミミ”文化

文化工房 カリヤ  
カリチャー俱楽部

第3・4水曜日  
午後4時から  
1時間放送

Pitch FMラジオ番組

Pitch FM 83.8MHz



ラジオで紹介してみませんか?  
「おとの習い事」



毎月第3、4水曜日16時よりPitch FM(83.8MHz)「文化工房かりやカリチャー俱楽部」番組内で「おとの習い事」(略して、オナラ)というコーナーがあります。剱谷で習い事、教室を主宰される方、もしくは珍しい習い事を習っている生徒さんにお話していただくコーナーです。ラジオで宣伝したい方を随時募集しています。「こんな教室してます!こんなこと習ってます!ぜひラジオで話したい!」と思った方は、メールpitch@838.fmまでご連絡ください。件名に「文化工房かりや 大人の習い事」と必ず書いて送ってください。お待ちしています。

もう一つお知らせです。現在、文化工房かりやのホームページを作成中です。近日中に公開予定です。市民目線の文化情報を紙媒体、電波発信に加えネット発信をしていきます。

[担当:井野・栗林]

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房 カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県剱谷市若松町2-104

TEL:0566-21-7430 / FAX:0566-21-7440

mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter : @B\_K\_kariya

Facebook : bunkakouboukariya

Blog : [bkkariya.wordpress.com](http://bkkariya.wordpress.com/)



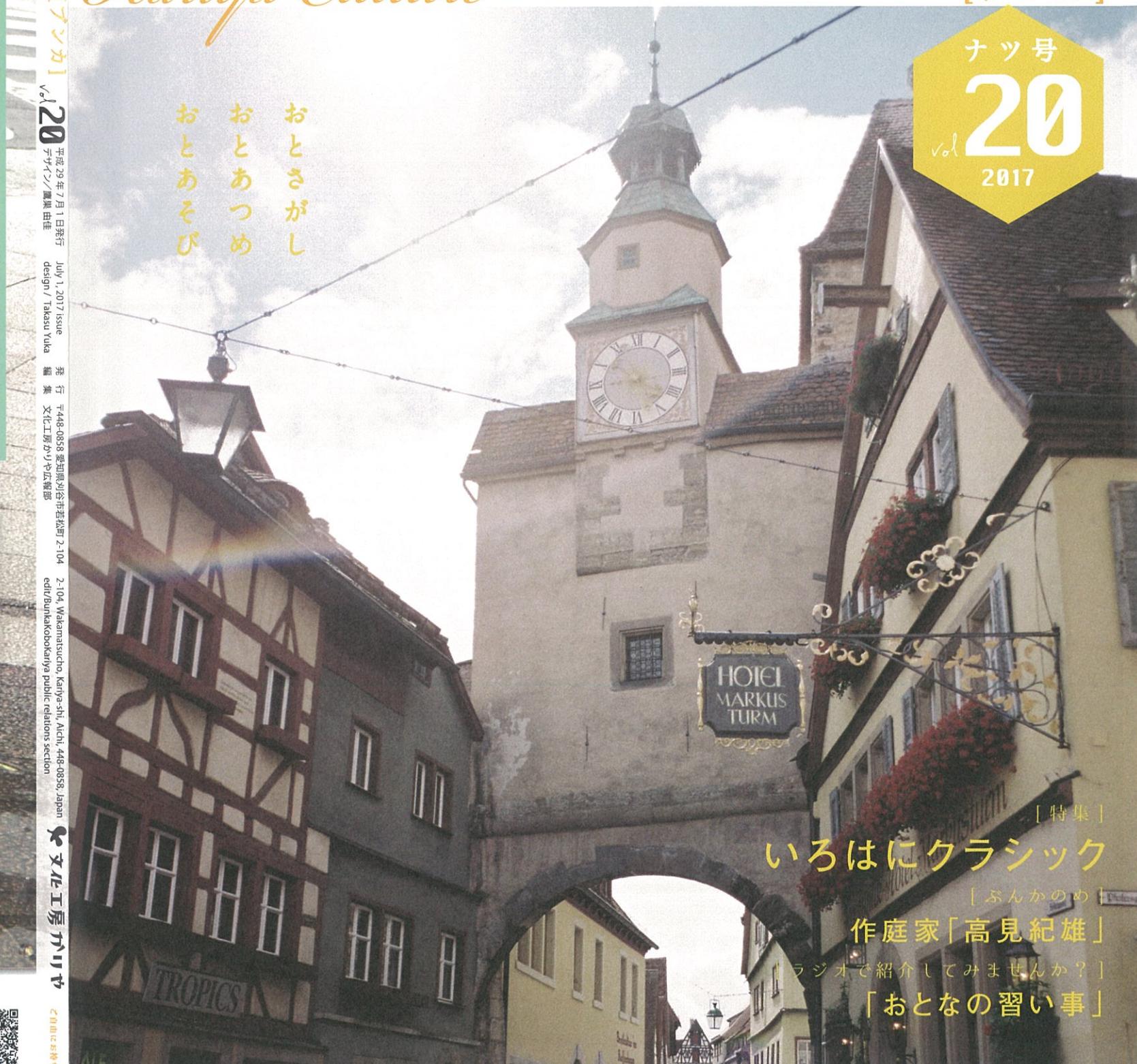
FREE

市民目線の文化発信：カリジャンとカリジェンヌのための新しい”剱谷文化”を紡ぐ情報紙

# BUN-KA

Kariya Culture [ブンカ]

ナツ号  
20  
2017



いろはにクラシック  
[ ぶんかのみ ]

作庭家「高見紀雄」

ラジオで紹介してみませんか?】

「おとの習い事」

文化工房 カリヤ

ちょこっと裏話 その11  
心動く瞬間(とき)

コンサートや舞台で感動したことはありますか?表現者が“何か伝えたい”と創り込んだものですから、素晴らしいと感じる公演がほとんどだと思います。では、思わず鳥肌が立ったり、涙を流してしまった経験はどうでしょう。いつだったか、オーケストラがある曲の演奏を始めた途端に、音の粒がキラキラと天から舞い降りてきて体を包み、まるで宙をふわふわと浮いているような不思議な感覚を経験した事があります。後に同じ曲を聴いてもその時以外では二度とそう感じる事はありません。また、アマチュアの発表会で、特別に上手い演奏ではなかったのですが、友を想う言葉を綴ったナレーションと演奏が本当に優しく感じられて涙があふれ出た時もあります。心動かされる瞬間は突然やって来ます。再びあの感動を味わいたくて、いろいろな公演へ足を運んでしまいます。アールマルシェでも、そんな心動く瞬間が訪れると嬉しいなと思っています。

【担当:柴田】



4月公演の様子

公演スケジュール

N°31 8月19日(土) 13:00~14:00

出演 プレシャスゴスペルクワイア/  
金城学院能楽同好会

クラシック音楽に触れる前に、まず「クラシック音楽」という言葉に壁を感じませんか?そして、クラシック音楽って何となく敷居が高いと思つてしまいがちです。クラシック音楽は、「18世紀初頭あたりに作られた西洋音楽」ですが、「曲が長い。拍手のタイミングがわからない。静かに聴かなければいけない。」というイメージがあります。指揮者の濱津さんに「クラシック音楽の魅力はズバリ何でしょうか?」尋ねると「魅力は、もちろん謎です。」と即答されました。「音楽は文化なので、人間が聴いてみて良いと思うものが100年200年と残るわけでも、人間の持つている基本的な感情、喜び、悲しみ、触れ合いだとかいつの世も変わらない何かをクラシック音楽が表現しているのだと思います。」なるほど!調べれば、調べるほど、奥が深く、謎が深まるばかりです。それを解説するためには、今日は、濱津さんにクラシック音楽のいろはをお聞きしました。

# いろはに クラシック

まずは短い曲から  
聴いてみよう!

CMや替え歌でカバーされたり、どこかで耳にしたことがあるこの3曲から聴いてみよう。

バロック時代 (17世紀初頭~18世紀中頃)

バッハ (1685年~1750年) 「トッカータとフーガ」



【豆知識】効果音として、突然訪れた悲劇を面白おかしく強調する様な場合に用いました。「鼻から牛乳」(嘉門達夫)は、この曲を替え歌にしてヒットしました。

ヴィヴァルディ (1678年~1741年)



「四季」の“春” 【豆知識】大正製薬「ライジン」CM(曲に合わせて大勢の人が速足で交差点を行き来するCM)が記憶に新しいです。

ロマン派時代  
(19世紀初頭~20世紀初頭)



ブルームス (1833年~1897年)

「ハンガリー舞曲 第5番」

【豆知識】映画

「独裁者」で、チャールズ・チャップリン演じる理髪師がこの曲に合わせて髪を剃る場面で使用。CMでは、ゼリア新薬「ヘパリーゼWHYPER」、キャノン「インクジェットプリンターPIXUS」などで使用。



理論や形式が精練確立した  
“キッチリ”音楽を  
切りくずして  
聴いてみよう

古典派時代 (18世紀中頃~19世紀初頭)

に、バロック期に生まれた音楽のさまざまな理論や形式が、精練され、確立されます。たとえば交響曲(シンフォニー)は、第1楽章から第4楽章まで起承転結で構成されています。1つの交響曲の長さは約30分程度と長いので、5、6分で聴ける一つの楽章だけを聴くのもおススメです。自分の好きな楽章を探すのもいいのでは…。

総合文化センターの  
リハーサル室で開催  
しているコンサートへ  
出かけよう!

たくさん的人にクラシック音楽に親しんでもらうため、刈谷市総合文化センターレジデントアーティストとして、0歳児から聞ける「おやこでうたうコンサート」と「濱津清仁レクチャーコンサート」を開催しています。「おやこでうたうコンサート」は親子で絨毯に座って聴いてもらえるスタイルです。童謡もまじえみんなで歌い、馴染みやすいクラシック音楽を聴いてもらうコンサートです。もう一つの「濱津清仁レクチャーコンサート」は、全部演奏すると長い曲を分析して、ピアノを弾きながら同時に解説し、曲に親しむコンサートです。本を読むより、生音を聴きながらその曲の聴きどころをレクチャーすると、すんなり曲に入りこめるようになります。他にも「もっと気楽にクラシック」も定期的に開催しています。リハーサル室でより身近に感じてもらうためのコンサートを色々企画していますので、ぜひ聴きに来ていただき、クラシック音楽の魅力を感じてください。



## 取材後記 「気軽に聴けるクラシックCD」

濱津さんが、クラシック音楽のサビの部分だけを集めてそれをネット発信していくと面白いと言ってみえ、1981年にギネスブックに“史上最も売れたクラシックアルバム”に認定され、今もその記録が破られていない「フックトオンクラシックス」というアルバムを思い出しました。誰もが知っているクラシックの曲をディスコビートにのせてメドレー形式でつなげた作品でした。ご存じの方も多いはずです。「クラシックはじめの一歩」にいかがでしょうか?

[取材:野村、井野 イラスト:植田]

濱津清仁(指揮者)

福島生まれ。幼少よりピアノ・ヴァイオリンを学び東京音楽大学ピアノ科に入学するも、後に指揮科に転科し1997年同大学を卒業。2004年ウィーン楽友協会にて、オーストリア・ウィーン放送交響楽団を指揮し、鮮烈な楽壇デビューを飾った。新設のプロオーケストラ、刈谷市総合文化センター管弦楽団の指揮者に就任、レジデントアーティストでもある。